

令和6年度

教科書調査研究報告書

中学校

**社会（歴史的分野）**

富士地区教科用図書採択連絡協議会

富士地区教科書研究委員会

## I 調査研究対象教科書

発行者	書名	学年
2 東京書籍	新編 新しい社会 歴史	1～3年
17 教育出版	中学社会 歴史 未来をひらく	1～3年
46 帝国書院	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	1～3年
81 山川出版社	中学歴史 日本と世界 改訂版	1～3年
116 日本文教出版	中学社会 歴史的分野	1～3年
225 自由社	新しい歴史教科書	1～3年
227 育鵬社	新しい日本の歴史	1～3年
229 学び舎	ともに学ぶ人間の歴史	1～3年
236 令和書籍	国史教科書 第7版	1～3年

## II 調査研究の観点

### 1 内容

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能が身に付くために、どのように工夫されているか。
- (2) 社会的事象の歴史的な見方・考え方をを用いて多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを議論したりする力を養うために、どのように工夫されているか。

### 2 組織・配列・分量

- (1) 課題を追究したり解決したりする活動を通して学ぶために、どのように工夫されているか。
- (2) 他教科等や他分野、小学校の学習との関連を図るために、どのように工夫されているか。

### 3 生徒の発達段階への配慮

- (1) 現在の社会、実生活と関連させながら興味・関心を引き出し、追究意欲を喚起するために、どのように工夫されているか。
- (2) 用語、表記、資料等の適切さ（内容、構成、数等）や紙面の見やすさ（フォント、大きさ、配色、鮮明さ等）について、どのように工夫されているか。

## 別紙様式 2

種目名	社 会 (歴史)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
2 東書	新編 新しい社会 歴史	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1) 1時間ごとに「学習課題」に沿って学習し、「チェック」と「トライ」で学習内容の定着を図る構成となっている。各単元の導入部では、単元の課題につながる資料とともに大まかな歴史の流れが示されており、大観して歴史をとらえることが可能。</p> <p>また、「スキル・アップ」や「活動コーナー」を活用することで、資料の読み取り方などの基礎的な技能を身に着けるとともに、人物や各時代の特色をとらえることが可能である。</p> <p>(2) 各単元末の「みんなでチャレンジ」では、小集団での話し合い活動を通して、多様な意見に触れながら理解を深め、自分の考えを整理したり、まとめたりすることで、多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断したりする力を育むことができる。また、思考ツールが紹介されており、生徒の意欲を高めつつ、自分の知識や情報を整理しながら、考えを整理したり構築したりすることができる。</p> <hr/> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <p>(1) 単元の中で「探究課題」「探究のステップ」「学習課題」と3段階に分けられた問いによって課題解決的な学習の実現ができると考える。</p> <p>(2) 各単元の導入部に、小学校で学習した内容を用語や写真で振り返るページが設けられており、見通しをもって学習に入りやすい。QRコンテンツには、単元の学習をイメージしやすいコンテンツが豊富に用意されているため、指導もしやすい。また、防災や人権などといった現代の課題と関連する題材や他教科でも扱う内容には、「リンクマーク」がつけられており、多面的・多角的に考えることが可能である。</p> <hr/> <p>&lt;生徒の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <p>(1) 持続可能な社会の形成を常に意識できるように、現代的な諸課題を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」五つの視点が設定されており、「もっと知りたい!」や「もっと歴史」といったコラムを取り扱うことで、現在の社会や実生活との関連性を感じることができるようになっている。</p> <p>(2) 見開きページの本文の文章量が適切である。一つ一つの資料は大きさや配色に配慮がされている。本文と資料のスペースが色で区</p>

		<p>切られているため、見やすい。</p> <hr/> <p>&lt;総評&gt;</p> <p>1 時間の流れや単元の学習の流れが可視化され、段階的に示されていることで、見通しをもって学習に取り組むことができる。資料を読み取る技能や自分の考えを整理し、表現する方法を身に付けながらより主体的で対話的で深い学びを実現する工夫が充実している。また、資料やコラム、QR コンテンツが豊富であるため、生徒の関心や課題意識も高まり、自学自習にも活用できると考える。</p>
--	--	--

## 別紙様式 2

種目名	社 会 (歴史)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果
		(①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
17 教出	中学社会 歴史 未来をひらく	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1)「学習のはじめに」では、章ごとの人々の生活の様子を示している。そのため、生徒はこれから学ぶ時代の特色やイメージなどを大観して学習に臨むことができる。また、「学習のまとめと表現」では、日本の動きだけでなく、世界の動きを年表に取り込むことで、各時代の流れをつかむことができる。すべての生徒が、資料を読み取るための手立てとして、学びリンクの歴史の技の動画を授業中に取り扱うことが非常に有効だと考える。</p> <p>(2)「学習のまとめと表現」では、単に知識を年表上に整理するだけでなく、「HOP」「STEP」「JUMP」の三段階で捉えなおして振り返ることで、「歴史的な見方・考え方」を働かせて、時代の転換点や特色を考察することができる。</p> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <p>(1) 課題をとらえる→課題を追究する→捉えなおして考察する→振り返るの、順序で一つの章が構成されており、教師も生徒も学びの仕方を確立しやすい。特に、章の始めに「章の間」や「学習の見通し」を明記することで、生徒が章の学習の見通しを立てやすい工夫がされているため、生徒がゴールの姿を見通して学習に取り組むことができると考えられる。</p> <p>(2) 第1章の「歴史ゲームで遊ぼう」では、小学校の学習をゲームで楽しみながら振り返る活動ができるように工夫されている。また、「歴史にアプローチ」では、小学校で学んだ人物に着目した歴史の見方・考え方から、「時期や推移」「比較」「関連」など中学校の学習で働かせる見方・考え方を紹介しており、中学校の学習の見通しを立てることに役立たせることができる。そのほかにも、特設ページの左ページには、その時間と関連する他分野の学習を示しており、カリキュラムマネジメントへの配慮もされている。</p> <p>&lt;生徒の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <p>(1)「歴史を探ろう」のページでは、資料を通して、人権意識やリサイクルなどの環境問題、共生社会についてなど、現代の諸課題を歴史的な観点から考えることができる手立てが設けられている。特に「歴史学習の終わりに」のページでは、日本の歴史の大きな流れを振り返り、現代社会の課題をSDGsの視点から、考え追究する学習を紹介することで、諸課題の解決に向けて、</p>

		<p>社会に参画していく意識や態度を育むことができると考えられる。</p> <p>(2) 判読しやすいように、本文と資料部分のフォントや背景色を明確に変えていることで、すべての生徒が扱いやすい形になっている。また、学びリンクを活用することで、生徒一人ひとりが自分の学びを個人で振り返ったり、資料の活用の仕方を学んだりすることができ、個別最適な学習がより進んでいく。</p> <p>&lt;総評&gt;</p> <p>課題を捉え、追究・考察、振り返るの学習のサイクルが各章ごとに明確になっている。特に、章の始まりで時代を大観し、章の終わりで、歴史の見方・考え方を生かした振り返りを行うことで学びの実感を得ながら学習を積み上げていくことにつながると考えられる。また、学びリンクを扱うことで、資料活用の技能を生徒一人ひとりが自ら学習することができる。個別最適な学びの充実が図られるような工夫がされている。</p> <p>「歴史をさぐる」などの特設ページを扱うことで、現代の諸課題の解決に向けて社会に参画しようとする意識や態度を育むことができる生徒になっていくことが期待できる。</p>
--	--	---

## 別紙様式 2

種目名	社 会 (歴史)
-----	----------

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
略 称		
46 帝国	社会科 中学生の 歴史 日本の歩み と世界の動 き	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1) 学習の見通しと振り返りがしやすい単元構成となっており、学習の見通しや振り返りを通して、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」の実現に役立つと考える。また、「世界とのつながりを考えよう」で地図やイラストを扱うことで、世界と日本の歴史の関連性を意識することができる。その際に、巻頭 9 にあるような思考ツールを扱うことで、諸資料から様々な情報を取捨選択し、効果的に調べまとめる技能が身につくと考えられる。</p> <p>(2) 巻頭「歴史的な見方・考え方」では、学習指導要領で示された歴史的な見方・考え方を、例を用いて紹介しており、アイコンを用いて「タイムトラベル」や「学習を振り返ろう」に設けることで、生徒の思考力を高めることができる。また、「アクティブ歴史」では、各種資料に基づいた対話的な学習が設定されており、複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力を養うことができる。</p> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <p>(1) 冒頭に「教科書を活用した学び」が配置されており、単元を通じた学びや毎時間の学びの考え方が示されており、アイコンに関しても丁寧な説明があり、自学自習に役立てやすい。</p> <p>(2) 「アクティブ歴史」では、各種資料に基づいた対話的な学習が設定されている。当時の社会で見られた諸課題について、様々な資料や意見を比較・選択する活動を通して、社会科の多様性を理解できる。また、各ページの左下には、地理・公民・小学校の学び・他教科との関りがある題材がわかるように記載されており、物事を多面的・多角的に捉えやすくなっており、教科間でのカリキュラムマネジメントを実施する指標となると考える。</p> <p>&lt;生徒の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <p>(1) コラム「未来に向けて」が巻頭・巻末などの本誌各所に設けられている。「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」などの現代の諸課題を地理的分野・公民的分野と同様に扱っており、持続可能な社会の形成に向けて、学びに向かう力を育むことができる。</p> <p>(2) 巻頭 3p のもくじが色や文字の大きさと内容ごとのまとまりがわかりやすい。二次元コードを用いた QR コンテンツが充実してい</p>

		<p>る。また、「タイムトラベル」などのイラストには、地図帳と同じような枠組みが設けられており、他分野と共通する部分を作ることで、該当する情報を引き出しやすくする工夫がされている。</p>
		<p>&lt;総評&gt;</p> <p>全体的に、「主体的・対話的で深い学び」「指導と評価の一体化」につながる工夫が多くされている。見通し→追究→振り返りの学習スタイルが定着するように、章の課題を全ページに掲載したり、学習を振り返ろうでは、多面的・多角的に振り返ることができるように考察したりしている。</p> <p>また、「アクティブ歴史」のページでは、思考力・判断力・表現力を働かせるパフォーマンス課題を設定している。そのため、対話を中心とした活動型の学習の充実していく。</p> <p>それらの活動を支える ICT コンテンツも充実していることから、誰一人取り残さない、個別最適な学習を実現できる。</p>

別紙様式2

種目名	社 会 (歴史)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
81 山川	中学歴史 日本と世界 改訂版	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1)P26のように「○世紀の世界」のページでは、地図やイラストを用いて、世界の大まかな時代の特色をつかむことができ、日本と世界の様子を比較して学習することが容易となっている。</p> <p>(2)「歴史へのアプローチ」や「地域からのアプローチ」のページでは、歴史的事象を多面的・多角的に考察できるよう、資料が効果的に掲載されている。示された小課題を用いることで、思考力や判断力を高めることができると考える。また、(2)p60などの「まとめ」では、穴埋めや表を用いて、これまで学習してきた内容を比較・焦点化しながら整理することができ、記述の欄は、思考力や判断力を養うために活用できる。</p> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <p>(1)見開きページの左側に、学習課題が提示されており、生徒が何を学ぶのか見通しをもつことができる。各ページの資料には発問がついており、資料の見る際の視点を設けたり、「ステップアップ」を設け、生徒の深い学びを促すような工夫がされたりしている。また、まとめのページでは、様々な立場(P100)や視点(P152)から、単元をまとめるような発問となっており、多面的・多角的に考えることができる。</p> <p>(2)第一章第一節では、小学校で学んだ人物から歴史の授業が始まったり、世界の歴史を充実させることで、高等学校の歴史教育につながるような発問とすることができる。また、文体が常体でそろえられており、高等学校との連携を意識している。</p> <p>&lt;生徒の発達段階への配慮(表現)&gt;</p> <p>(1)「歴史を考えよう」では、生徒たちの興味・関心を引き出すように、他教科で扱う内容や生活経験と関連する内容を盛り込んでいる。</p> <p>(2)難しい用語には、丁寧な用語解説が設けられており、該当単語の近くに示されているため、自学自習に役立つと考える。難しい史料は、現代語訳が掲載され、理解しやすくなっている。また、二次元コードは当該資料と関連性が高い映像や写真へアクセスできるものであり、当時の雰囲気や特徴等を理解するのに役立つ。全体的に資料が多いが、文字の大きさは小さく感じる。</p>

	<p>&lt;総評&gt;</p> <p>世界の歴史を含めた、歴史全体の流れをつかむことができる教科書であるため、日本の歴史を世界の歴史と関連付けて考えたり、現在の国際情勢と、歴史の関連を考えたりすることができる教科書である。特に、文体にも表れている通り、高等学校との関りを重視しており、高等学校の教育との連携を図られている。</p> <p>また、資料の読み取りの視点を発問によって設けたり、まとめのページで多面的・多角的に考えるような発問をしたりすることで、深い学びにつながるとように工夫されている。</p>
--	---

別紙様式 2

種目名	社 会 (歴史)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
116 日文	中学社会 歴史的分野	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1) 編の冒頭には、資料を比較しながら、「古代」や「近世」といった各時代の特色を大観することから始まっている。生徒たちが編や章の問いを設定し、見通しをもって学習に取り組めるように工夫がなされている。また、「資料活用」のポイントが示されており、諸資料から情報を効果的に読み取る力を養うことができると考える。</p> <p>(2) コラムや特設ページでは、女性の活躍や労働問題、環境問題といった SDGs に関連する今日的課題を考えることができるよう、先人の知恵を学び、未来について考える構成となっている。現代の問題をより多面的・多角的について考察できると考える。また、各見開きページ冒頭には「見方・考え方」が示されており、終末には「確認」や「表現」の問いが示されており、生徒たちが歴史的事象をとらえる着目点を得ながら、主体的・対話的で深い学びにつながり、学んだ内容を用いて考えや意見を構築することで、思考力や判断力を養うことができると考える。</p> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <p>(1) 単元の導入部の「学習のはじめに」では、年表・イラスト・地図を設け、そこから単元を通して考える問いを明確にしていくという構想になっている。その問いは、すべての見開きの右下に掲載されており、生徒が意識しやすい。それだけでなく、二次元バーコードから、イントロダクションムービーを読み取ることで、より主体的に学習に取り組むことが可能である。また、ポートフォリオも読み取ることができ、学習の積み重ねを記録することで、課題を追究したり解決したりする活動がより充実されていく。</p> <p>(2) 「でかけよう！地域調べ」では、課題追究の方法やフィールドワークの仕方などを順序立てて説明しており、それをきっかけに地理的分野の学習が充実したり、興味・関心をもったりすることができる。また、P 9などの「スキルアップ」で、資料の活用方法などを動画でわかりやすく説明しているため、総合的な学習の時間等につながる。</p>

	<p>&lt;生徒の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <p>(1)コラム「先人に学ぶ」や「各時代の女性」などにより、生活の向上や文化の発展などについて知ることができる。また、SDGsのテーマに沿うものには、マークが記されており、現代の諸課題について考えるきっかけを得ることができるように工夫されている。</p> <p>(2)巻頭3pのもくじが色や文字の大きさに内容ごとのまとまりがわかりやすい。各ページの資料も配色が明るくて見やすい。P6からの「私たちと歴史」が巻頭ページでの扱いではなく、章の中で取り上げられ、「年代のあらわし方」や「時代区分」の説明が丁寧であり、充実している。また、各見開きページに二次元コードが掲載されており、外部リンクや関連資料だけでなく、確認小テストが用意されており、授業内容の確認や自学自習で活用できる。</p> <p>&lt;総評&gt;</p> <p>生徒たちが時代を大観しながら、適切な資料を扱うことで、社会科の「見方・考え方」を生かしながら学ぶことができる工夫がされている。その際に、資料活用のポイントを示すことで、資料活用能力を育むことができる。</p> <p>また、コラムが充実しており、現代社会や実生活に関連付けながら、学ぶことが可能である。今日的な諸課題について、自分事として考え、解決に向けた取り組みを考えることができる。</p>
--	--

## 別紙様式2

種目名	社 会 (歴史)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
225 自由社	新しい歴史 教科書	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1) コラム「外の目から見た日本」では、外国人から見たその当時の日本の様子が描かれており、外国から見た視点を意識して考えることができる。またコラム「もっと知りたい」が見開き1ページで掲載されており、より深い学びにつながる。</p> <p>(2) 章の終わりに、「時代の特徴を考えるページ」が設けられており、ここでは、「歴史用語ミニ辞典」の作成や「人物比較の問題」「ひとこと」作文など、その時代の人物や特色などを自分の言葉で説明する活動を通して、思考力・判断力・表現力を高めることができるように工夫されている。</p> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <p>(1) 章の終わりの「時代の特徴を考えるページ」の「対話とまとめ図のページ」では、キャラクターが対話している様子から、時代を大観し、多面的・多角的にとらえることができる。また、各見開きに本文を補足し、発展する資料（史料、小さなコラム、知っとくポイントなど）が掲載されている。そのため、生徒が自ら、疑問に感じたり、追究したりしながら学びに向かうことができる。</p> <p>(2) 章の始めの年表に、「登場人物コーナー」が設けられており、小学校で学んだ人物を中心に、その時代の登場人物を確認することができる。また、「人物クローズアップ」のページでは、多様な分野で活躍した人物の生き方に迫ることで、歴史教育の充実だけでなく、自己の生き方について深めることができ、教科横断的な学習ができるように工夫されている。</p> <p>&lt;生徒の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <p>(1) 「調べ学習」のページでは、修学旅行を取り上げたり、日本人の名字の由来について調べたりする活動を通して、学習した内容が、実生活の中で生かすことができたり、体験したりすることができるようなテーマを設けることで興味・関心が引き出され、追究意欲を喚起できる。</p> <p>(2) 男女のこどものキャラクターのセリフにより、学習のポイントが焦点化される。「歴史の言葉」では、複数の単元にわたり出てくる用語について、詳しく説明している。</p>

	<p>&lt;総評&gt;</p> <p>章の終わりのまとめのページなどを活用することで、社会的事象について、多面的・多角的に考えることができる教科書である。また、「外国の目から見た日本」などのコラムから、日本を客観的にみることができ、自国への誇りと愛国心が自然と高まるような工夫がある。</p> <p>また、本文を補足するような資料やコラムが充実しており、課題追究学習の充実が図られ、主体的・対話的で深い学びを実現することができると考えられる。</p>
--	---

## 別紙様式 2

種目名	社 会 (歴史)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
227 育鵬社	新しい日本 の歴史	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1)時系列に沿って、内容が並んでいる。特に、日本の縄文時代を人類の誕生の次のページに扱っているところは珍しい。提示された資料についての解説あり、資料を読み取る力技能の習得に役立つ。</p> <p>(2)「鳥の目で見ると」のページに章の課題、「虫の目で見ると」のページに節の課題、「見開きページ」に授業の課題が提示されることで、生徒自身が見通しをもって学習に取り組むことができる。また、「人物クローズアップ」のページでは、主体的に社会の課題を追究していった先人たちの事例を紹介することで、それらを考えたり議論したりする工夫がなされている。</p> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <p>(1)単元の導入部分にある「鳥の目で見ると」から、その時代を大観し、「虫の目で見ると」でその時代の事象を個別に捉えることで、その時代の特色をつかむことができる。章全体で学んできた内容をまとめのページで、どのような時代であったかと問うことで、各時代を追究したり、その時代の課題について解決したりすることができる。</p> <p>(2)P12～P13 に「歴史的な見方・考え方を働かせる」を設けることで、「時期や年代」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」など、高等学校の歴史教育に必要な見方・考え方を使いながら歴史教育を進めることができる。また、「地域の歴史を調べてみよう」では、①テーマを決める②調査をする③分類・分析・整理をする④発表する、の手順を示すことで、地理的分野や総合的な学習の時間の取り組みに関連することができる。</p> <p>&lt;生徒の発達段階への配慮（表現）&gt;</p> <p>(1)「歴史クローズアップ」など、歴史的な事象を多面的・多角的に考察できる資料が形成されており、自分の現在につながる物事の誕生や成立について知ることができ、追究意欲を喚起することが可能である。</p> <p>(2)図版資料には、通し番号が付いており、本文中の対応する箇所に図番号を示してあることで、教員も示しやすく、生徒も確認しやすくなっている。また、各章の冒頭には二次元コードが掲載されており、学習内容に関する動画の閲覧や情報の収集が容易となっている。</p>

	<p>&lt;総評&gt;</p> <p>「人物クローズアップ」などのコラムが充実しており、多面的・多角的に歴史的事象を学ぶことができる。また、社会科の「見方・考え方」を意識させ、「鳥の目で見える」「虫の目で見える」などの章の導入部の充実した資料を扱いながら授業を展開していくことで、主体的に学習に取り組む態度が育まれ、多種多様な資料を自ら選択、追究し、深い学びにつなげることができる工夫がされている。</p>
--	---

別紙様式 2

種目名	社 会 (歴史)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
229 学び舎	とともに学ぶ 人間の歴史	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1) 世界の歴史を背景に、日本の歴史の流れを大きくつかみ理解する内容となっている。章の見開きページには、それぞれの章のテーマに基づいた、その時代の各地の様子を表す写真や絵を配置している。そのため、世界の大きな変化と関連して、日本の各時代の特色を理解できるように工夫されている。</p> <p>(2) 見開き 2P の左上に大きな図版を配置し、様々な疑問がでるようになっている。疑問を持つことで、多面的・多角的に考える力が培ってくる。また、章の終わりの「振り返り・まとめ」では、地図や年表を活用し、グループ活動を行うことで、思考力・判断力・表現力を高めることができる工夫がされている。</p> <p>&lt;組織、配列、分量&gt;</p> <p>(1) 章の終わりに学習の振り返りを行うことで、どのような時代であったか、大観できる。また、部のまとめでは、時代の転換に着目して振り返ることで、多面的・多角的に考察して、自分の言葉で表現することができる。</p> <p>(2) 「歴史を体験する」では、火起こしや糸紡ぎなどの体験学習を詳しく紹介したり、身近な地域の歴史的な特徴を考察する活動をしたりすることで、総合的な学習の時間に自らの課題を設定につながるようになっている。歴史の学習だけでなく、課題設定の力や課題追究の仕方や考え方を学ぶことにも最適である。</p> <p>&lt;生徒の発達段階への配慮 (表現) &gt;</p> <p>(1) 近・現代史学習では、21 世紀までテーマを設定することで、生徒自ら、歴史的な事象を今日の社会と結びつけようとより良い日本の社会、世界を視野に社会の課題に対して追究しようとする態度を養える。また、指導者的な立場の人物だけでなく、人々の営みにも着目してまとめられており、多様な人々の生活や考え方にを知ることができ、自他の敬愛と協力を重んじる態度を育てることができる。</p> <p>(2) 各見開きの見出しが工夫されており、生徒が「なんだろう？」と興味のわくタイトル、関心を引き出す学習課題となっている。また教科書のサイズが、A4 判となっており、豊富な資料にもかかわらず、見やすい。</p>

		<p>&lt;総評&gt;</p> <p>世界を背景としてまとめられており、世界の大きな変化と日本と世界の関連性、またその時代の日本の特色を考えながら学ぶことができる。章の終わりには、多面的・多角的に歴史を考察することができる。</p> <p>また、指導者的な立場の人物だけでなく、女性や子ども、生活の困難を乗り越えようとする人々の姿も描いており、今日の社会的な問題と関連付けて学ぶことができると考えられる。</p>
--	--	--

## 別紙様式 2

種目名	社 会 (歴史)
-----	----------

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③生徒の発達段階への配慮)
		236 令書

	<p>&lt;総評&gt;</p> <p>情報量が多く、基礎的な知識だけでなく、発展的な知識の獲得までできる。そのため、生徒の個別最適な学習が、展開されていくと考えられる。また各コラムでは、道徳的な価値など、教科横断的な視点で学ぶことができ、実生活の関連させたり、今日的な課題を考えたりすることができるきっかけとなると考えられる。</p>
--	---